

2026.9.16

報道関係者 各位

< 配信枚数1枚 >

**文部科学省「大学・高専機能強化支援事業（成長分野転換基金）」に採択
宇宙・地球・情報融合による高度専門人材育成拠点の形成を推進
2028 年開設予定「宇宙地球フロンティア研究科（仮称）」の教育・研究基盤を強化**

立命館大学（所在地：京都市中京区、学長：仲谷善雄）は、このたび、文部科学省が公募する「大学・高専機能強化支援事業（成長分野転換基金）」〔支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援「重点分野支援枠」〕に採択されました。採択事業「宇宙・地球・情報融合による立命館大学宇宙地球フロンティア人材育成拠点形成事業」を通じ、宇宙・地球・惑星に関する科学・工学における教育・研究基盤を強化し、高度専門人材の育成を推進します。

本事業は、デジタル技術を基盤に成長分野を支える高度情報専門人材の育成強化を支援する文部科学省の事業です。本学は、2028 年 4 月に開設予定の大学院「宇宙地球フロンティア研究科（仮称）」※において、新たな人材育成拠点の形成を目指します。

AI・データサイエンス、モデリング、シミュレーションなどの情報技術を共通基盤に、観測・探査から設計・実証、運用、社会実装までを俯瞰できる高度専門人材の育成を推進します。演習や実験・実習、フィールドワーク、PBL (Project Based Learning) を重視したハンズオン型の教育プログラムの構築に加え、教育・研究拠点の整備や教員体制の充実、国内外の大学・研究機関・企業・自治体との連携強化を図ります。

本学は 2023 年に宇宙地球探査研究センター（通称「ESEC」）を設置し、月・惑星探査や宇宙機器開発、宇宙環境利用技術の研究を推進してきました。小型月着陸実証機「SLIM」や月極域探査機「LUPEX」などの国家プロジェクトへの参画、宇宙戦略基金事業への採択などを通じて培った研究基盤を大学院教育へ接続し、研究と教育・人材育成を一体的に推進します。

本事業を通じ、宇宙・地球分野と情報分野を融合した教育・研究機能を強化するとともに、研究成果の社会実装や新たな産業創出を担う高度専門人材を継続的に輩出することで、「社会共生価値を創出する次世代研究大学」として社会の発展に貢献してまいります。

※本研究科の設置計画は予定であり、今後、内容に変更が生じる可能性があります。

■ 仲谷善雄 立命館大学学長 コメント

このたび、文部科学省「大学・高専機能強化支援事業（成長分野転換基金）」に採択されたことを大変光栄に思います。宇宙に関する技術開発はもちろんのこと、それらを地球上での環境、防災・減災、資源・エネルギーなどの諸課題の解決に適用できる人材の育成が求められています。本事業を契機に、2028 年開設予定の大学院「宇宙地球フロンティア研究科（仮称）」の構想をさらに発展させ、宇宙・地球・情報を融合した教育・研究拠点の形成に取り組みます。研究から社会実装までを担う高度専門人材の育成を通じて、持続可能な社会の実現と科学技術・イノベーションの発展に貢献してまいります。

本リリースの配布先：
京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：中嶋 TEL.075-813-8300 E-mail.r-koho@st.ritsume.ac.jp